

2022年度 大学入学共通テスト 英語リーディング(本試験) 分析

試験時間80分

難易度	出題分量	出題傾向
平年並み 同時に処理すべき情報量は多いが、昨年と比較しても難易度に大きな差はない。	やや増 マークが1問増加し、語数も増加した。	昨年踏襲 設問形式は昨年度踏襲
総評 昨年同様に文法問題の出題はなく、全て読解問題で構成された。前半にイラストや写真、そこに付随する説明を読み取るものが多く、後半は物語の流れを時系列で並べたり、要点をまとめたシートを埋めたりする設問が出題された。順不同で解答を2つ選ばせるタイプが複数回登場した。処理すべき情報が散らばっている場合もあり、読み取りの素早さと、処理能力が問われた。		

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	設問別分析
第1問	説明読み取り A:料理本 B:ウェブサイト	10点	A: 外国の果物に関する説明を読み取り設問に答える。「ケーキに向いている」「酸味がある」などの簡単な単語で解答が可能。 B: 動物園のキリンの赤ちゃんの名前募集記事。応募期限や賞金について読み取る。
第2問	説明読み取り A:図書館案内 B:学校新聞	20点	A: 図書館の案内を読み取る。どの部屋が何階にあるのかなど、丁寧に見れば正解できる。案内文には「個人の見解」と「建物やサービスの実情」が混ざっているが、設問は実情を問うものだった。 B: ペットに関する記事。文にある数値を順番に並べ替える設問や、タイトル設問あり。
第3問	読解問題 A:ブログ B:雑誌記事	15点	A: イベントについて紹介し、感想を述べる文。筆者がそれぞれの出し物にどう感じたか読み取る。 B: 登山に関する物語。出来事を時系列に並べる設問あり。語数やや増。

第4問	読解問題 ブログ	16点	どこで家電を買うべきか2人の学生がそれぞれ紹介した記事。割引を計算し、補償などの条件も満たし最も安い商品を見極めるなど、情報が散らばっているので、注意が必要。
第5問	読解問題 伝記	15点	発明家の伝記。これにも内容を時系列に並べる設問あり。年号がヒントになる。
第6問	読解問題 A:評論文 B:評論文と説明	24点	A: 朝型人間と夜型人間についての文章。情報をまとめたシートを穴埋めしていく形式。シートがどのような情報をまとめているのかも読み取りが必要。 B: リサイクルのマークに関する評論文。リサイクルのし易さや、耐熱(冷)温度などの細かい条件を読み取って、内容が一致する文を選ぶ。ひとつの選択肢が正解かどうかを見極めるために、本文の複数個所を確認する必要があるため丁寧な読み取りが必要。語数増。

次年度以降の受験生へのワンポイントアドバイス

昨年同様の読解問題ばかりの出題となり、今後も文法問題の復活はないと思われるが、この量の文章を素早く処理していくためには、あらかじめ「単語力」「(読むための)文法力」が備わっている必要がある。基礎力がついた上で、論理的読解方法を極めていき、最終的には時間配分にも気を付けながら勉強を進めるのが理想。基礎固めは当然ながら、普段の学習から時間を意識した学習方法も心掛けたい。